

第4次春日井市子ども読書活動推進計画の施策事業の実施状況について（令和7年度分）

1 基本目標Ⅰ（家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進）について

市図書館では、全ての事業を計画的どおりに実施することができた。子どもやその保護者に本の楽しさや読み聞かせ大切さを伝え、読書や図書館の利用を促進する様々な取り組みによって、基本目標の進展に成果があったと考えている。

また、保育園では季節や行事に合わせた絵本の読み聞かせや、交通安全や環境指導に紙芝居を活用するなど、日々の活動の中で絵本などに親しむことができた。小中学校では、読書週間の活動や朝の斉読書が定着し、特に中学校ではほぼ全校で年間を通して朝の斉読書に取り組むなど、ICT教育を推進しつつも、生活の中に読書が浸透する取組がされており、いずれも基本目標の進展に成果があったと考えている。

なお、児童書及び絵本の貸出冊数は605,870冊と令和6年度より約15,000冊減少しており、目標値に達していない。

2 基本目標Ⅱ（市図書館などの読書環境の整備・充実）について

市図書館では、図書の購入・貸出・予約、情報提供など従来からのサービスを維持しつつ、展示・排架方法の工夫、魅力ある広報物の発行、児童洋書の積極的な購入などを行い、基本目標の進展に成果があったと考えている。

また、小中学校では、図書の追加購入、市図書館の蔵書の活用、学校図書館支援事業の活用を行うなど、基本目標の進展に成果があったと考えている。

なお、読み継がれる絵本の貸出数は5,978冊で、目標値を超えている。

調べ学習に関する支援としては、小学校6校と中学校1校、のべ9回の団体貸出があり、目標値に達していない。

3 総括

新型コロナウイルス感染症の影響が払拭され、以前のような読書活動ができるようになったため、行動制限下の代替手段として行われていた動画配信などの事業は新たに実施しなかった。

図書館や保育・教育の現場では、年度当初の計画に沿って各事業を実施することができ、それぞれ想定していた成果を得ることができた。

全体として、令和7年度の取り組みにより、基本目標の進展に成果があったと評価している。

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
1 家庭における読書活動の推進	(1)	乳幼児期からの家庭での読書活動の支援	ブックスタート事業	4か月児健康診査時に、保護者に絵本を手渡すとともに絵本の読み聞かせを実施し、家庭での読み聞かせの意義を啓発する。	実施回数:48回 参加組数:1,850組	・乳児が絵本に関心を向ける様子から、4か月での実施が適切なタイミングと考えている。	図書館
			にこにこおはなし会(乳児向け) ※旧事業名:赤ちゃんのためのおはなし会	絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊びや乳児向け絵本を紹介する。	文化フォーラム春日井、西部ふれあいセンター 実施回数:33回 参加者数:745人	・対象年齢をわかりやすくするため、令和7年度に事業名称を変更。	図書館
			赤ちゃんのためのおはなし会	絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊びや乳児向け絵本を紹介する。	実施回数:12回 参加者数:153人	・天候や気候によって参加者数が増減が顕著である。参加者の満足度は高い。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			にこにこおはなし会(幼児向け) ※旧事業名:すくすく読み聞かせ会	1歳6か月から就園前までの幼児を対象に、読み聞かせを行う。	実施回数:11回 参加者数:118人	・対象年齢をわかりやすくするため、令和7年度に事業名称を変更。	図書館
			ふれあい教育セミナー	絵本の読み聞かせの仕方や絵本の選び方などについて、保護者が学ぶ講座を実施するセミナー委員会に対し支援する。	実施回数:7回 参加者数:948人	・ふれあい教育セミナーの補助対象事業の事例として、本の読み聞かせの方法を学ぶ講座を挙げたことにより、保育園や幼稚園のセミナー委員会で絵本の読み聞かせなどが開催された。	いきがい推進課
	(2)	家読(うちどく)事業の啓発・推進【新規】	家庭に向けた情報提供	保護者等に対して読書活動の情報を提供する。	うちどく展示(同じテーマで子ども用と大人用の本をセットにして展示し、貸出) 実施回数:2回(8、12月) 貸出数:47セット	・事業の効果が高いと考えられる夏休み、冬休み期間に実施した。	図書館
2 地域における読書活動の推進	(3)	児童館・公民館等における読書活動の推進	絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスをを行う。 読み聞かせを通して絵本の楽しさを伝える。 お話を聞く中で豊かな情操を育む。	読み聞かせの会 実施回数:12回 参加者数:乳幼児75人、小学生22人、大人87人 お話の部屋 実施回数:11回 参加者数:幼児102人、小学生10人、大人93人 子育て広場 実施回数:34回 参加者数:乳幼児719人、大人696人	・子育て広場では、乳幼児と保護者が一緒に楽しめる絵本を選書した。	交通児童遊園
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	年齢に合った絵本の読み聞かせを行う。	実施回数:50回 参加者数:1,385人 使用絵本:177冊	・季節に合った絵本を選定した。 ・絵本の読み方を工夫し、子どもの関心をひくようにしている。 ・読み聞かせの後に絵本の紹介をした。 ・手話を使って絵本の読み聞かせを行った。	児童センター
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	親子に向け、絵本・紙芝居の読み聞かせを行う。	自由来所 参加者数:6,399組 13,880人	・季節や子どもの年齢などを考慮し、絵本の内容やサイズを選定した。 ・絵本に近づいたり、内容を真似た動きをしようとするなど、子どもが絵本に関心を寄せている様子が確認できた。	子育て支援センター
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	未就学児とその保護者を対象に読み聞かせを行う。	読み聞かせ(毎週金曜日) 実施回数:50回 参加者数:2,297人 一時預かり児読み聞かせ 参加者数:4,330人	・絵本を通して季節を感じられるよう、また子どもだけでなく、保護者も楽しめるよう選書を工夫した。 ・絵本を繰り返し読むことが大切であることを伝えた。	子育て子育て総合支援館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
2 地域における読書活動の推進	(3)	児童館・公民館等における読書活動の推進	絵本・紙芝居の読み聞かせ	保育士などが子育て支援サロンや子育て相談を行う移動型の地域子育て支援事業	子育てサポートキャラバン隊 実施回数:110回 参加者数:3,797人(子ども1,947人、保護者1,850人)	・当日の参加者の年齢・月齢など見て選書し、親子で楽しめるよう工夫している。	子育て推進課
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数:152回、参加者数:1,433人 会場:図書館、ふれあいセンター(高蔵寺、南部)、公民館(鷹来、坂下、中央)、グリーンパレス春日井	・ボランティアに協力を依頼して事業を実施 ・鷹来公民館ではリニューアルオープン後に事業を再開することができた。 ・図書館資料の利用につながるようなPRを行うよう、ボランティアへ依頼している。	図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数:51回 参加者数:450人	・夏休み期間のボランティア体験のプログラムに、読み聞かせを組み込んだことや、外国人による読み聞かせの実施などにより、実施回数が増え、参加数も大幅に増加した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			イベントでの読み聞かせ	公民館等でのイベント開催時に、幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	子どもの部屋(中央公民館) 実施回数:2回 参加者数:29人 夏休み子ども劇場(西部ふれあいセンター) 実施回数:1回 参加者数:17人	・子どもの部屋について、受付方法を電話からインターネットによる募集に変更したところ、参加者が増加した。 ・夏休み子ども劇場では、会場内にクラフト等のコーナーもあるので、手元に置いてあるものに気を取られないように、読み聞かせについては、別のエリアにイスの配置する等、集中してお話を聞ける部屋作りを行った。	いきがい推進課
	(4)	放課後児童クラブ等における読書活動の推進	団体貸出	事前に登録した団体を対象に、1回の貸出につき150冊・30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 読書団体:34団体 5,023冊 幼・保・こども園:14団体 2,426冊 小中学校:7団体 280冊 ボランティア団体:5団体 163冊 その他団体:1団体 12冊	・対象となる団体を幼稚園、保育園、認定こども園にも拡大した。	図書館
			本・紙芝居の読み聞かせ	放課後児童クラブにおいて、本・紙芝居の読み聞かせを行う。また、読書のできる環境を作る。	子どもの家30施設での読み聞かせ 実施回数:週に3~4日 図書館資料の団体貸出について周知した。	・上級生が下級生に読み聞かせを行うことで、数年先は自分たちもやってみたいという気持ちになり、自由遊び中でも友だち同士で読み聞かせで遊ぶ場面をよく見かけることが多くなっている。	社会福祉協議会(子どもの家)
	(5)	ボランティアの活動支援	読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員または小・中学校の教員を対象とした、読み聞かせに関する研修を開催する。	11月20日(木)開催 参加者数:45人(うちボランティア23人)	・国語科教育や児童文学を研究分野としている桜花学園大学の森川拓也教授に講師を依頼。 ・絵本作家の製作意図を読み解くことの大切さなど、絵本に対する考察力が育ち、読み聞かせ活動に生かせる内容で、読み聞かせに関わるボランティアや保育士、図書館職員のスキルアップにつながる研修会となった。	図書館
			ボランティアのPR	図書館ボランティアの活動を図書館内の掲示、図書館ホームページへの掲載でPRする。	紹介団体数:15団体	・各団体の特徴が伝わるよう、ホームページに各団体の情報を掲載し、館内掲示物等を作成した。	図書館
			ボランティアとの協働	紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	にこにこおはなし会(ボランティア担当分) 実施回数:10回 参加者数:261人 紙芝居とお話を聞く会 実施回数:147回 参加者数:1,382人	・ボランティアに協力を依頼して事業を実施。 ・鷹来公民館ではリニューアルオープン後に事業を再開することができた。 ・図書館資料の利用につながるようなPRを行うよう、ボランティアへ依頼している。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
2 地域における読書活動の推進	(5)	ボランティアの活動支援	ボランティアとの協働	各種イベントをボランティアと協働して実施する。	赤ちゃんのためのおはなし会(ボランティア担当分) 実施回数:12回、参加者数:153人 紙芝居とお話を聞く会(ボランティア担当分) 実施回数:34回、参加者数:278人	・読み聞かせの活動を希望するボランティアに対する支援の充実を図る。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			団体貸出	事前に登録した団体を対象に、1回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 読書団体:34団体 5,023冊 幼稚園保育園:14団体 2,426冊 小中学校:7団体 280冊 ボランティア団体:5団体 163冊 その他団体:1団体 12冊	・対象となる団体を幼稚園、保育園、認定こども園にも拡大した。	図書館
3 学校等における読書活動の推進	(6)	幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実	絵本・紙芝居の読み聞かせ等	毎日、絵本や紙芝居の読み聞かせを行うとともに、絵本の紹介をする。	実施園数:29園	別紙参照	各保育園
			幼稚園・保育園の特別団体貸出	コンテナボックス1箱分(25冊程度)の絵本等を幼稚園・保育園に貸し出し、読み聞かせ等に活用する。	巡回貸出を廃止し、絵本20点と紙芝居5点をセットにした「えほんばこ」の貸出を開始 対象:幼稚園、保育園等 貸出数:60件	・対象となる団体を幼稚園、保育園、認定こども園にも拡大した。	図書館
			読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員または小・中学校の教員を対象とした、読み聞かせに関する研修を開催する。	11月20日(木)開催 参加者数:45人(うちボランティア23人)	・国語科教育や児童文学を研究分野としている桜花学園大学の森川拓也教授に講師を依頼。 ・絵本作家の製作意図を読み解くことの大切さなど、絵本に対する考察力が育ち、読み聞かせ活動に生かせる内容で、読み聞かせに関わるボランティアや保育士、図書館職員のスキルアップにつながる研修会となった。	図書館
			幼稚園・保育園児及び保護者等に向けた情報提供	幼児とその保護者等に向けて図書館が推薦する図書を紹介した「こども図書館だより」を発行し、図書館で実施する行事や図書について情報を提供する。	こども図書館だより:年4回発行 配付先:保育園、小学校、児童センター他	・図書の紹介文には対象年齢を表示するなど、子どもの読書活動につながるような内容となるよう工夫した。	図書館
	(7)	学校での読書機会の提供・充実	読書週間事業	読書週間を設定する。読書週間期間中に「読み聞かせ」「読書まつり」等を行う。	読書週間を設定 小学校:37校、中学校:3校 読み聞かせ、読書集会、読書まつり等を実施 小学校:37校	・小学校では全校で読書週間を設定し、「読み聞かせ」「読書まつり」などの活動を行っており、本に触れあう機会を設定している。	学校教育課
			読書活動推進事業の支援	多読賞を実施する。学校図書館ボランティアの協力により、読み聞かせやブックトーク等を行う。	多読賞を実施 小中学校:29校 読み聞かせやブックトーク、朗読劇等を実施 小学校:37校	・多くの小学校でボランティアとの協力によって、読み聞かせ等を実施するなど、読書活動が推進されている。 ・読書推進のため、各学校で工夫をした取組が進められている。	学校教育課
			必読書、推薦図書の選定	必読書、推薦図書の選定を行い「学校図書館だより」などで紹介する。	必読書・推薦図書の選定し、図書館だよりの発行や専用コーナー設置することで児童生徒へ紹介 小学校:31校 中学校:13校	・ほぼ全ての中学校でこれらの活動がされており、オンライン集会やお昼の放送などを活用したPRがされている。	学校教育課
			小学生、中学生、高校生に向けた情報提供	小学生向けの児童室だより、中高生向けのTC通信(ティーンズコーナー通信)でおすすめ本を紹介する。	こども図書館だより:年4回発行 配付先:保育園、小学校、児童センター他 TC通信:年4回発行 配付先:中学校、高校他	・市内中学校宛に、TC通信のメール送信を行った。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
3 学校等における読書活動の推進	(7)	学校での読書機会の提供・充実	職場体験等の受入	中学校等の生徒に図書館業務を体験してもらい、図書館の存在をより身近に感じてもらうことで、参加者の読書活動を促す。	実施回数：4回 青少年ボランティアスクール 小学生2人 職場体験 中学生5人 子どもの日本語教室 4歳～中学生とその保護者1人	・予定していた職場体験(中学校1校)が台風のため中止となった。	図書館
			職場体験等の受入	中学校からの依頼で図書館の仕事を体験してもらい、より身近に感じてもらう。	実施回数：3回 中学生8人	・図書館に興味関心のある子が多くいることが分かったので、日常の来館へとつなげていきたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(8)	一斉読書を利用した読書習慣の確立と読書時間の確保	全校一斉の朝読書	始業前の全校一斉読書や、読書週間を設けての読書を行い、学校生活での読書時間を確保する。	実施校数 小学校：36校(内7校がほぼ通年で実施) 中学校：14校(内13校がほぼ通年で実施) 通年実施でない学校は、読書週間活動の一環として実施	・ほとんどの学校が、朝読書を実施している。特に中学校は、全ての学校で年間を通して朝読書に取り組んでおり、読書の習慣が身についていると考えている。	学校教育課
	(9)	授業等での読書の活用	団体貸出	市内の小中学校に対し、1回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 小学校6校 212冊 中学校1校 68冊	・図書館が行っている学校支援について小中学校校長会で案内し、活用を希望する学校を募った。	図書館
			学校図書館所蔵の図書の活用	総合的な学習の時間や調べ学習等で、学校図書館所蔵の図書の利用を促進する。	・多くの小中学校で、総合的な学習の時間や国語・社会科で、調べ学習や協働学習を行っている。 ・調べ学習のテーマに合った本を一定期間教室へ貸し出したり、国語の教科書に載っている本や同一作家の本の紹介コーナーを設けたりするなど、児童の興味・関心を高められるようにした学校もあった。 ・総合の探求事業では、図書館の司書を招へいし助言を受けた学校もあった。	・本や図鑑を活用して調べ学習をしている学校が依然多くある一方で、タブレットが導入されたことにより、調べ学習はタブレットを使う学校も増えてきている。 ・要望のある図書を購入したり、調べ学習用のコーナーを設置したりするなど、書籍に触れるきっかけを作り、本の良さが伝わりような工夫がされている。	学校教育課
4 市図書館における読書活動の推進	(10)	発達段階に応じた情報の提供や展示等の実施	年代別ブックリストの作成・情報提供	小学校向けに低・中・高学年、中学校別におすすめ本のリストを作成し、学校へ情報提供する。	令和3年度に小学校向け「学校支援おすすめブックリスト(11テーマ計282冊)」を配付済	・図書館が行っている学校支援について小中学校校長会で案内し、活用を希望する学校を募った。	図書館
			図書館ホームページ	図書館ホームページ及び図書館ホームページ内「こどもページ」で資料検索、おすすめ本の紹介や事業案内を行う。	・通常ページとこどもページで利用案内、資料検索、予約、新刊案内などの情報を提供 ・図書館カレンダーで各種おはなし会の日程を案内 ・図書館からのお知らせで各種イベントの開催を案内 ・図書館刊行物のページで、図書館でのイベントやおすすめの本等を紹介した「図書館だより」等の定期刊行物を公開(ダウンロード可能)	・対象者に合わせた情報提供を行っている。	図書館
			発達段階に応じた情報発信	こども図書館だより、TC通信(ティーンズコーナー通信)を作成・配布し、発達段階に応じた情報発信をする。	こども図書館だより：年4回発行 配付先：保育園、小学校、児童センター他 TC通信：年4回発行 配付先：中学校、高校他	・市内中学校宛に、TC通信のメール送信を行った。	図書館
			ベストリーダー・ベストリクエスト	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する。	毎日更新	・毎日最新の情報を提供している。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
4 市図書館における読書活動の推進	(11)	子どもが読書の楽しみに触れる機会の提供	こどもの読書週間イベント・読書週間イベント	こどもの読書週間(4月23日～5月12日)と読書週間(10月27日～11月9日)の期間に読書啓発、図書館の利用促進のためのイベントを行う。	こどもの読書週間イベント 実施日:4月29日、5月10日 内容:腹話術と楽しい手品、音訳・点訳体験等 参加者数:166人 こども絵本くじ:5月6日、86冊 読書週間イベント 実施日:11月9・15日 内容:読み聞かせ駅伝、ブラックパネルシアター等 参加者数:137人 ブラインドブック:11月8・9日、9冊	・より効果的な事業実施のため、読書週間の期間中の土日に、いくつかのメニューを集約して実施した。	図書館
			図書の紹介展示	テーマを決め、テーマに沿った本を展示し紹介する。	企画展示 :2回 テーマ展示:11回 さぼてん!:27回	・市内に店舗を持つ無印良品と連携したテーマ展示を実施した。	図書館
			テーマ図書の展示	季節や行事等身近なテーマを設定し、本を展示する。	随時、企画展示、スタッフ展示、書評等展示を実施	・乳幼児連れの保護者を対象とした展示スペースを新設し、保護者にも読書を楽しんでもらえるよう配慮した展示を実施した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			本の福袋	図書館職員おすすめの本を3冊セットにし、タイトルを伏せて貸出する。	実施日:12月27日(土)、28日(日)、1月4日(日)～7日(水) 貸出実績:21袋(63冊)	・福袋が販売される時期に合わせて実施し、イベント感を出すことで、日頃は手にしないような本を読んでもらえるよう工夫した。	図書館
			子ども司書養成講座	図書館業務や読書について興味や関心を高めるため、子ども司書養成講座を開催する。	7月27日(日)、8月3日(日) 対象:市内在住の小学校4～6年生 参加者数:10人	・興味を持って参加している様子が伺われ、参加者同士の交流も見られた。	図書館
			子ども司書養成講座	子どもたちが図書館の仕事や読書について学び、業務を体験することで図書館への興味・関心を高める。	5月11日(日)開催 対象:小学3～6年生 参加者数:5人	・図書館を好きな子どもたちが、講座修了後に継続して活動ができる仕組みづくりを考えたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			図書館見学	総合学習の一環として、図書館の見学を受け入れる。	小学校:7校 651人	・施設説明において、児童が興味を持てるよう努めた。	図書館
			図書館見学	小学生に授業の一環として社会見学の場を提供するとともに、図書館の利用の仕組みや本の探し方を学んでもらい、図書館利用の促進を促す。	9校 324人	・プログラムを工夫して楽しい場所と印象付けられるよう実施した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			図書館見学	小学生の社会見学として、高蔵寺ふれあいセンターの見学を受け入れ、読書手帳を配付した。	1校 95人	・事前に質問を受付、見学の際に回答する方法で実施した。	高蔵寺ふれあいセンター
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数:152回 参加者数:1,433人 会場:図書館、ふれあいセンター(高蔵寺、南部)、公民館(鷹来、坂下、中央)、グリーンパレス春日井	・令和7年度から、第5週目の水・土曜日に、図書館職員が担当するおはなし会を実施した。	図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数:51回 参加者数:450人	夏休み期間のボランティア体験のプログラムに、読み聞かせを組み込んだことや、外国人による読み聞かせの実施などにより、実施回数が増え、参加数も大幅に増加した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
4 市図書館における読書活動の推進	(12)	読書活動への奨励	読書手帳配付	読書手帳を配付し、自分の読書履歴を目にするように記載することで、読書意欲を高める。	冊子のカラー印刷は取りやめたが、ホームページ上でデータを公開し利用を呼びかけた。	・モノクロ印刷した冊子を図書館見学時などに配付した。	図書館・高蔵寺まなびと交流センター図書館
			小中学校読書感想文コンクール	読書感想文を募集し、優秀作品を表彰する。	応募作品:3,810点 優良作品:18点 佳作作品:128点 入選作品:141点	・応募作品数は減少したが、優良な作品があり、全国コンクールで入賞した。 ・読書感想文書き方教室を開催し、感想文への取り組み方を学ぶ機会を提供した。	図書館
			小中学校読書感想画コンクール	読書感想画を募集し、優秀作品を表彰する。	応募作品:14,789点 優良作品:78点 入選作品:702点	・応募作品数は減少したが、優良な作品があり、全国コンクールで入選した。 ・優良作品展を開催し、作品鑑賞の機会を設けた。	図書館
			読書感想文書き方教室	読書感想文の書き方、まとめ方の講座を開催する。	7月19日(土)開催 対象 小学1・2年生、3・4年生、5・6年生 参加者 69人(児童38人、保護者31人)	・講師の指導の下、児童が保護者とコミュニケーションを取りながら、自分の思いを言葉にする時間を設けるなど、感想文への取り組み方を学んだ。	図書館
	(13)	中学生・高校生等への学習機会の提供【新規】	調べ学習図書の活用	図書館所蔵の調べ学習図書を利用し、各学校で調べ学習を行う。	団体貸出利用数 小学校6校 212冊、中学校1校 68冊	・授業での調べ学習の参考本のほか、図書館の整備に関する資料などを貸出した。	図書館
			10代の未来さがし講座	中学生・高校生向けに本や読書に関する講座を開催する。	12月6日(土)開催 対象:小学4～6年生、中学生、高校生 参加者数:小学生13人、中学生4人、高校生0人	・中部大学と連携し講座を企画し、前年度に引き続き光る生きもの博士として知られる大場裕一教授に講師を依頼した。	図書館
	(14)	ボランティア等の学習機会の提供	読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員または小・中学校の教員を対象とした、読み聞かせに関する研修を開催する。	11月20日(火)開催 参加者数:45人(内ボランティア23人)	・国語科教育や児童文学を研究分野としている桜花学園大学の森川拓也教授に講師を依頼。 ・絵本作家の製作意図を読み解くことの大切さなど、絵本に対する考察力が育ち、読み聞かせ活動に生かせる内容で、読み聞かせに関わるボランティアや保育士、図書館職員のスキルアップにつながる研修会となった。	図書館
	(15)	ボランティアの活動支援・育成	ボランティアのPR	図書館ボランティアの活動を図書館内の掲示、図書館ホームページへの掲載でPRする。	紹介団体数:15団体	・各団体の特徴が伝わるよう、ホームページに各団体の情報を掲載し、館内掲示物等を作成した。	図書館
			団体貸出	事前に登録した団体を対象に、1回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 読書団体:34団体 5,023冊 幼稚園保育園:14団体 2,426冊 小中学校:7団体 280冊 ボランティア団体:5団体 163冊 その他団体:1団体 12冊	・対象となる団体を幼稚園、保育園、認定こども園にも拡大した。	図書館
			図書館読み聞かせボランティア養成講座	絵本の読み方などを学ぶ講座を開催し、図書館読み聞かせボランティアとして活動する読み手を養成する。	6月19日(木)、26日(木)、7月3日(木)開催 参加者数:4人 内2人がボランティアグループに加入	・新たに2名がボランティアグループに加入し、担い手の育成に効果があった。	図書館
			音訳技術講習会(初級編)	市民を対象に、音訳に必要な基礎的な知識・技術を学ぶ講習会を実施することで、音訳ボランティア活動への参加を促す。	全12回講座(5月～9月) 参加者数:12人	・ホームページや公共施設へのチラシ配布等を行った。障がい者サービスの担い手育成に効果があった。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
4 市図書館における読書活動の推進	(16)	ボランティア等との協働・連携	音訳デジタル録音技術講習会	音訳ボランティアとして活動している方を対象に、デージー図書を製作するために必要な知識・技術及びその工程を学ぶ講習会を開催し、当館に所蔵するデージー図書を製作する担い手を育成する。	10月9日(木)、16日(木)開催 参加者数:延べ53人	・音訳技術者の育成は、当館の障がい者サービスの根幹となるため、次年度以降も継続して実施予定。	図書館
			ボランティアとの協働	紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	にこにこおはなし会(ボランティア担当分) 実施回数:10回、参加者数:261人 紙芝居とお話を聞く会 実施回数:147回、参加者数:1,382人	・ボランティアに協力を依頼して事業を実施。 ・鷹来公民館ではリニューアルオープン後に事業を再開することができた。 ・図書館資料の利用につながるようなPRを行うよう、ボランティアへ依頼している。	図書館
			ボランティアとの連携	図書館事業の企画等について、意見交換会等をおし、ボランティア団体と定期的に情報交換を行う。	ボランティア連絡会 1回目:8月24日(日) 8団体8人出席 2回目:2月15日(日) 7団体7人出席	・ボランティア同士、ボランティアと図書館との間での意見交換を行うことにより、利用者へのより良いサービス提供に繋げていきたい。	図書館
	(17)	中学生・高校生の意見聴取	ティーンズ世代向けアンケート	中高生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	ティーンズコーナーにお勧め本の「紹介カード」投稿ポストを設置し、中高生のお勧め本と紹介カードの展示を継続的に実施 職場体験やインターンシップ参加者から意見を聞き取り	・お勧め本と紹介カードの展示を継続的に行っているが、お勧め本の貸出機会が非常に多い。 ・様々な機会を捉えて、10代の意見を活かして、魅力的な書架づくりをめざす。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
5 市図書館・図書室の整備・充実	(18)	市図書館・図書室の資料の充実	計画的な図書購入	各図書館・図書室の間で隔たりが出ないよう、一定の割合で新しくなるように、計画的な図書の購入を図る。	購入数・購入費 図書館 7,533冊 17,762,558円 高蔵寺まなびと交流センター図書館 2,703冊 5,930,681円 図書室9室 6,219冊 11,096,430円 合計 16,455冊 34,789,669円	・鷹来公民館のリニューアルオープンにあわせて、児童書を中心に購入し、整備を行った。 ・坂下・中央公民館の除籍を積極的に行い、図書の買い替えを行った。 ・障がいの有無に関わらず楽しめるユニバーサル絵本を購入し、読書機会を広げる資料構成に努めた。	図書館
	(19)	レファレンスサービスの充実	図書館のレファレンス	図書館資料の問い合わせに対し、適切な支援を行う。	レファレンス件数：943件	・レファレンス記録様式を改め、事例の蓄積によるサービスの向上に努めた。 ・国立国会図書館が取りまとめているレファレンス協同データベースに加入した。	図書館 高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(20)	ホームページの充実	図書館ホームページ	図書館ホームページ及び図書館ホームページ内「こどもページ」で資料検索、おすすめ本の紹介や事業案内を行う。	・一般用ページとこどもページ分けて作成し、それぞれで利用案内、資料検索、予約、新刊案内などの情報を提供 ・トップページに図書館カレンダーを掲載し、各種おはなし会の日程を案内 ・行事・展示の 카테고리 を設け、子ども向け講座やテーマ展示などの情報を掲載 ・図書館刊行物の 카테고리 に、図書館でのイベントやおすすめの本等を紹介した「図書館だより」「TC通信」等の定期刊行物(PDFデータ)を掲載	・スマートフォンのマイページ登録方法や、便利な利用方法などを解説したチラシを作成し、図書館ホームページの利用促進を図った。	図書館
			インターネット予約	来館することなくパソコンや携帯電話から図書館資料を予約できるサービスを行う。	予約件数：188,001件	・最新のニュースや新刊案内メール送信にあわせて、予約される利用者が多くなっており、マイページが活用されている状況がうかがわれる。	図書館
			ベストリーダー・ベストリクエスト	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する。	毎日更新	・ベストリーダーは定番の人気本が、ベストリクエストは新しい本や話題の本がランクインする傾向がある。	図書館
	(21)	ティーンズコーナーの充実	ティーンズコーナー	中高生のニーズに合った図書館資料を児童書、一般書から選びティーンズコーナーに配架する。	蔵書数：6,858冊	・TC通信と連携した展示コーナー設け、幅広い本の紹介を行った。 ・利用者からお勧め本の「紹介カード」を募り、それを展示することで、利用者目線のPRも行った。	図書館
			ティーンズコーナー	中学校・高校生の利用促進を図るため、図書館資料の中から中高生のニーズにあった資料を集めたティーンズコーナーを児童書コーナー、一般書コーナーとは別に設置し、充実を図る。	蔵書数：5,564冊	・資料があるだけでは効果が薄いので、来てもらうきっかけづくりをしていきたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			TC通信(ティーンズコーナー通信)の発行	TC通信で、中高生におすすめ本の紹介をする。	発行数：年4回 配付先：中学校、高校他 令和5年5月号から現役高校生による本の紹介を掲載している。	・春日井高等学校と連携し、対象と同世代の生徒が推薦する本の紹介を掲載している。 ・市内中学校宛に、TC通信のメール送信を行った。	図書館
	(22)	障がいのある子どもへのサービスの充実	障がい児向けの図書の提供	デージー図書、点字図書、大活字図書、LLブック等の貸し出しを行う。	製作数 デージー図書：38種、点字データ：70種 貸出実績 デージー図書：105回 点字図書(点字データ含む)：69回 大活字本：16,050回 LLブック：73回	・新たに全国的なネットワークであるサピエ図書館に加入し、利用希望者の登録を支援した。 ・障がい者図書サービスのPRチラシ等を作成し、利用者の掘り起こしに努めた。	図書館

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
5 市図書館・図書室の整備・充実	(22)	障がいのある子どもへのサービスの充実	やさしい日本語表記による情報の提供	伝える相手に分かりやすい日本語表記による案内・情報提供を行う。	やさしい日本語による利用案内をホームページに掲載	・一般用、子ども用に加えて、やさしい日本語で案内する「かんたん操作ページ」を設け、障がいのある利用者にも使いやすいホームページとなるよう努めた。	図書館
	(23)	外国語資料等の収集と情報提供	外国語資料の収集	子ども向け外国語資料の収集、貸し出しを行う。	蔵書数 外国児童書:666冊 外国絵本:2,304冊 購入数 41冊	・児童洋書の販売があれば、積極的に収集した。	図書館
			やさしい日本語表記による情報の提供	伝える相手に分かりやすい日本語表記による案内・情報提供を行う。	やさしい日本語による利用案内をホームページに掲載	・一般用、子ども用に加えて、やさしい日本語で案内する「かんたん操作ページ」を設け、日常的に日本語を使用しない方にも使いやすいホームページを設けている。	図書館
	(24)	子どもや子育て世代向けのコーナーの充実【新規】	読み継がれる絵本コーナーの充実	読み継がれる絵本コーナーの充実と利用促進を図る。	所蔵タイトル数:240タイトル 貸出回数:5,978回	・令和7年度にリストを更新して紹介冊子を作成した。令和8年度から冊子を配布。	図書館
			読み継がれ絵本コーナーの充実	読み継がれ絵本コーナーの充実と利用促進を図る。	図書館だよりへの紹介資料の展示を5か所、2か月に一度の周期でおこなった。	・定期的に見直し、入れ替えが必要。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(25)	読み聞かせ動画の配信【新規】	読み聞かせ動画の配信	「春日井のむかし話」の読み聞かせ動画を配信する。	14タイトル配信継続中	・引き続き公開しているが、新たな動画制作の必要性は低いと考えている。	図書館
	(26)	電子書籍についての調査研究【新規】	電子書籍導入についての調査研究	電子書籍を導入した場合の有効性等について調査研究する。	電子図書館について、調査・研究を継続。	・導入から数年が経過した他館では、継続について賛否があるとの情報があり、引き続き調査研究を行っている。	図書館
6 学校図書館の整備・充実	(27)	読書を楽しめる学校図書館の環境づくり	魅力ある学校図書館への環境づくり	子ども・学校図書館ボランティア・教諭が連携協力し、魅力ある学校図書館づくりを推進する。	連携協力して、学校の読書環境づくりを実施 小学校:37校 中学校:12校	・図書館ボランティアなどを中心に、多くの学校が地域と家庭との連携を進めている。	学校教育課
			学校図書館運営の支援	学校図書館ボランティア等の協力により、図書の貸出・返却業務や配架、本の修繕を行う。	新刊本の表装、図書の整理、図書の修繕、廊下の掲示物作成 小学校:25校 中学校:4校	・令和6年度に比べ、小中学校で微増した。	学校教育課
	(28)	計画的な図書の整備	学校図書館整備事業	すべての学校図書館の図書標準の充足率が100%となるよう計画的に図書を整備する。	図書充足率 小学校:100%以上31校、100%未満6校 中学校:100%以上12校、100%未満3校 図書購入数 小学校:10,077冊 中学校:3,941冊 蔵書数 小学校:392,566冊 中学校:218,309冊	・充足率が100%に達していない学校が減少した。	教育総務課

第4次春日井市子ども読書活動推進計画 令和7年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和7年度実績	特記事項	担当課
7 家庭、地域、学校等相互及び図書館等の連携	(29)	家庭・地域と学校図書館の連携	魅力ある学校図書館への環境づくり	子ども・学校図書館ボランティア・教諭が連携協力し、魅力ある学校図書館づくりを推進する。	連携協力して、学校の読書環境づくりを実施 小学校:37校 中学校:12校	・図書館ボランティアなどを中心に、多くの学校が地域と家庭との連携し、読書環境の整備を行っている。	学校教育課
			読書活動推進事業の支援	多読賞を実施する。学校図書館ボランティアの協力により、読み聞かせやブックトーク等を行う。	多読賞の実施 小中学校:29校 読み聞かせやブックトーク、朗読劇などの実施 小学校:37校	・多くの小学校でボランティアの協力による読み聞かせなどが進められるなど、各校で様々な工夫した取り組みがみられる。	学校教育課
			必読書、推薦図書の選定	必読書、推薦図書の選定を行い「学校図書館だより」などで紹介する。	必読書・推薦図書を選定し、図書館だより・専用コーナー設置で紹介 小学校:31校 中学校:13校	・中学校での取り組みが増え、ほぼ全校での実施となった。 ・印刷物に代わり、オンラインの活用も増加している。	学校教育課
	(30)	市図書館と学校等の連携	団体貸出	市内の小中学校に対し、1回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 小学校6校 212冊 中学校1校 68冊	・団体貸出や学校図書館ボランティア講習の講師派遣など、図書館が行っている学校支援について小中学校校長会で案内し、活用を希望する学校を募った。	図書館
			年代別ブックリストの作成・情報提供	小学校向けに低・中・高学年、中学校別におすすめ本のリストを作成し、学校へ情報提供する。	令和3年度に小学校向け「学校支援おすすめブックリスト(11テーマ計282冊)」を配付済	・学習指導要領の改定のタイミングで、ブックリストを更新予定。	図書館
		市図書館と学校等の連携	リサイクル本の活用	図書館で除籍になった本を学校図書館等で有効利用する。	リサイクル会を実施した。 日時:12月5日(金) 参加者:市関係:1課 幼稚園・保育園・認定こども園:24園 認可外保育施設等:4団体 提供数:1,036冊	・公立だけでなく、子育て支援に関わる団体に幅広く参加を呼び掛けた。	図書館
	(31)	市図書館と図書室の連携	図書館・図書室間の資料搬送	身近な図書室で図書等の貸出・返却ができるよう、毎週火・木・土曜日に図書館と図書室を巡回し、図書等の搬送をする。	巡回日数:160日	・巡回搬送する資料の数量が増加しているため、業務の効率化を図るためルートや日程の調整を行った。 ・マイページで予約・搬送状況を確認することもでき、利用者のニーズに合ったサービスを提供することができる。	図書館
			図書館と図書室の情報交換	定期的に各図書室担当者と利用方法などの情報交換する。	・グループふじとう図書館連絡調整会議:2か月に1回開催 ・事務担当者連絡会議を年2回開催	・定期的に情報交換を行うことで、連携の強化を図った。	図書館
	(32)	他公立図書館等との連携	他公立図書館等との連携	他公立図書館や大学図書館との情報交換や図書等の相互貸借等をととして連携する。	相互貸借 借受:933件 1,662冊 貸出:862件 1,079冊 遠隔複写依頼件数:5件	・当館は、県内の公立図書館のなかで、借受・貸出とも上位15位以内に入るなど、積極的に活用されている。	図書館

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

3 学校等における読書活動の推進

(6) 幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実

No.	特記事項	担当課
1	・様々なジャンルの絵本を選ぶことで、子どもたちの興味・関心の幅が広がった。 ・読み聞かせは保育士と子どものふれあいの機会と捉え、一緒に読む中で愛着や親しみを育む大切な活動であることを意識している。	第一保育園
2	・玄関ホールに絵本コーナーが設置してあることで、登降園時に親子で絵本に親しむ姿が見られ家庭との繋がりの大切さを感じた。 ・行事に合わせた紙芝居を取り入れることで、子どもたちの興味関心が高まり、事前に内容を知ること、行事への期待に繋がることを感じた。	第二保育園
3	・テラスに絵本コーナーを設置することで、子どもが興味を持った時にすぐに調べられるようにした。 ・子どもの興味や行事などに合わせて読み聞かせの本を選ぶようにした。	第三保育園
4	・絵本や紙芝居の読み聞かせ等がきっかけとなり、子どもたちの興味、関心がある内容を保育に取り入れていくことで、日頃の遊びが充実していく姿が見られた。	西部保育園
5	・梅干し作りの絵本をみて年長児が興味を持ったため、絵本を参考にして実際に梅干し作りに挑戦した。 ・季節ごとに本棚の本をいれかえたり、手に取りやすい場所に絵本を置くなどして園児が本に親しみやすい環境作りを行った。	桃山保育園
6	・保育室、廊下に絵本コーナーを設け、子どもたちが保育活動の中で、自由に絵本を見ることができるようになっている。本棚の絵本は、子どもたちが飽きないように定期的に中身を入れ替えている。 ・図鑑を購入し、子どもたちの好奇心、探求心、知りたい気持ちを育てている。 ・子どもたちが戸外遊びで見つけた草花や木の実、昆虫などの自然や生き物を調べたい時にすぐに調べられるよう、戸外にミニ図鑑等を設置した。 ・幼児組は、毎日給食後に絵本の読み聞かせの時間を設け、子どもたちも保育士も、読み聞かせの時間を楽しみにしている。 ・図書を買い足すときには子どもたちの興味や遊びにつながるものを選んでいく。	玉川保育園
7	・毎月いろいろな絵本に触れることができ、子どもたちが楽しむことができた。月刊絵本から保育へつながることで、子どものイメージや興味が広がった。	高座保育園
8	・季節に応じた紙芝居や絵本をコーナーに展示することで、保育士がよく使用していた。 ・幼児が自分で選んだ本をじっくり読めるような環境と本の選定について工夫していけるとよいと感じた。	出川保育園
9	・子どもたちが遊びや生活の中で、興味を持ったものを絵本や図鑑で調べ発信、共有する姿が見られた。子ども同士でイメージを持ってさらに絵本の世界を楽しんだり、図鑑を見たことをもとに観察を深めたりするようになった。 ・クラスの様子を写真を添えて掲示し、保育士間の共有の仕方を工夫した。	坂下南保育園
10	・図書室を設けたことで絵本を子どもが選ぶ楽しみが増えた。 ・保育士が絵本の取り組みについて興味を持ったことで、保育士自身が絵本を楽しく選んだり、読んだりしていた。 ・保育士が、子どもの発達を理解したうえで読み聞かせの絵本を選ぶことでより絵本を楽しむことができた。	坂下北保育園
11	・子どもの興味関心や季節に合わせた内容の絵本を用意し、様々な遊びに発展していくよう工夫した。 ・草花や昆虫などをすぐに調べたり、好きな時に見られるよう園庭に絵本ラックを設置した。	外之原保育園

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

3 学校等における読書活動の推進

(6) 幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実

No.	特記事項	担当課
12	子どもたちは絵本を読みきかせてもらうことが大好きで、保育士が本を持ってくると、自然とその場に寄ってくる。絵本から子どもの興味関心が広がったり、経験したことを絵本や図鑑で調べたりする子どもの姿から、子どもにとって絵本はなくてはなくてはならないものだと感じている。	上八田保育園
13	・子どもの姿から、興味関心のある図鑑や絵本を用意し、積極的に調べたり読んだりする機会となるようにした。テラスに読書ができる場所を設置したことで、子どもたちが遊びの中で感じた疑問点をすぐに図鑑などで探究でき、遊びが広がった。	松原保育園
14	・貸し出し図書では、図書館司書の推奨する絵本を借りることもあったが、じっくりと話を聞けない場面が多かったため、時間にゆとりを持ち、じっくりと話を聞ける環境を作りたい。 ・子どもたちが好きな絵本のイラストを壁に貼ったり、玩具を作って用意することで絵本の世界を楽しむことができた。	白山保育園
15	・月刊絵本については、保育士がどのような思いがあってこの本を選んだかを購入の際保護者に伝え、日々の保育の中でも積極的に取り入れた。 ・幼児組の貸し出し絵本は、子どもだけでなく保護者からのリクエストで利用する子どももあり、家庭でも楽しんでもらっている。	勝川北部保育園
16	・園児が行事や昔話について知るきっかけとなった。また、友だちと一緒に見ることで同じものを共有し、気づいたことや感じたことを表現していた。 ・年齢や発達に応じた絵本や紙芝居を選書した。	牛山保育園
17	・保育室や特別室に絵本をすぐ手に取ることができるようにしている。また季節や子どもたちの興味関心に応じて、絵本の内容を考慮し配置した。 ・絵本の内容から興味が広がり、日頃の活動や行事の取り組みに繋がっていった。	藤山台保育園
18	・月刊絵本の題材に興味を持ち、遊びの中に取り入れる姿が見られた。材料を探して制作活動をすることで考える力を育むことができた。 ・絵本コーナーに立ち寄り、自分の気に入った本をその場で読んだり、部屋に持って行き、友だちや保育士と一緒に楽しんだりする姿が多く見られた。	小野保育園
19	・日々の保育の中で絵本の読み聞かせをしていることで、子どもたちの興味が広がり、遊びにつながっていった。さらに行事にもつながり、一年を通して絵本の世界を楽しむクラスもあった。 ・テラスに自然に関する本を置き、子どもが興味を持った時すぐに本を手にとれるよう配置した。	味美保育園
20	・子どもの興味、関心のある内容や季節に応じたものを用意し、子どもが見たいタイミングで自由に読めるようにしたことで、更に絵本に親しみを持つようになった。	神領保育園
21	・絵本や紙芝居を通して、保育士と子どもとのコミュニケーションが増え、楽しさを共有することができた。物語の中に入り込み遊びの中でごっこ遊びや言葉遊びをしたり、興味を持ったものを自分で調べたりする姿もみられた。	岩成台保育園
22	・絵本や紙芝居を取り入れることで興味や関心が深まり、遊びが広がっていった。また図鑑がすぐ手に取れる場所にあることで、自分で調べたり友だちとの関わりに繋がったりして楽しむことができた ・交通安全や災害の話、行事等は理解がしやすくなった	前並保育園
23	・戸外や廊下に図鑑コーナーを設置し、興味のある生き物の名前をすぐに図鑑で調べられるようにした。 ・保育の中に絵本を取り入れることで遊びが広がり、絵本の世界を楽しむことができた。	追進保育園

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

3 学校等における読書活動の推進

(6) 幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実

No.	特記事項	担当課
24	・読み聞かせ(持ち方、見せ方、めくり方など)を工夫することで、子どもたちが物語に集中し、絵本の世界を楽しむ姿が多く見られた。さらに、絵本の世界観をもとに遊びへと発展する姿が見られた。	貴船保育園
25	・子どもたちの興味のある内容の絵本を用意し、図鑑を使って調べたりして、近くに本がある環境を作った。 ・絵本を通して経験させたいことなどを中心に絵本を選定した。 ・乳児は一对一の関わりの中で、好きな絵本を安心して楽しめるようにした。	下津保育園
26	・絵本がきっかけとなり子どもたちの興味関心、知識、意欲が育つ。 ・繰り返し同じ絵本を何度も読むことで子どもたちの想像の世界が広がり、身近な植物や虫や事象についての関心が高まる。 ・保護者にも絵本の良さやそこから広がる遊びの面白さを伝えた。	柏原保育園
27	・自由に絵本がみられるコーナーを整えることで、子どもが絵本を身近に感じ、手に取る機会が多くなっている。	大手保育園
28	・集中できるように場所や時間に配慮する。 ・子どもたちが見やすいよう、絵本の角度に気を付ける。また、年齢に合った内容と文字数のものを選ぶ。 ・子どもの興味関心に添う内容の絵本を選び、探求心を深められるようにした。	瑞穂保育園
29	・絵本から子どもたちの心が豊かになり、世界が広がっていくので、乳幼児期の絵本との出会いを大切にしている。今後も読み聞かせを大切にしていきたい。	柏原西保育園